



いわみ

No.146

令和3年2月1日発行

議会だより



大事な場面で
強烈なスパイクを決める

(春高バレー1月5日 東京体育館)

12月定例会

- 2 コロナ禍でも新生児増 町独自の特別給付を増額
- 5 町民と議会の意見交換会を開催しました
- 6 8議員が町政を^{ただ}質す
- 15 元気もらった！ありがとう 岩美高校女子バレーボール部
- 16 大雪を初めて体験されたみなさんに聞きました

コロナ禍でも新生児増 町独自の特別給付を増額

12月定例会

12月定例会を、12月15日から17日まで3日間の会期で開きました。一般会計補正予算など追加1議案を含む15議案を、原案通り可決しました。また、議員発議案2件を可決しました。



コロナ禍にあっても、多く誕生している新生児

主な議案の概要と質疑

(注) 質疑応答は、常任委員会と全員協議会を含みます。

一般会計補正予算

1億5343万円を増額し、予算総額を82億8169万円としました。

歳出の主なもの

新生児特別定額給付金事業費

100万円増額

新型コロナウイルス感染症対策事業として、定額給付金の対象とならなかった新生児に対して、町が独自に10万円を給付している。

新生児の増が見込まれるため、給付予算額を増額。

ひとり親世帯臨時特別給付金事業費

967万円増額

国の新型コロナウイルス感染症対策事業として1世帯当たり5万円、第2子以降は1人当たり3

万円の臨時特別給付金を給付している。国が再支給を決定したことに伴う増額。

有害鳥獣駆除事業費

729万円増額

増額理由は、①国は2年度、緊急捕獲事業として、狩猟期のイノシシ捕獲を対象とし、町の奨励金単価を増額。②イノシシ、シカなどの捕獲頭数の見込み増による。

岩本・大谷地区土地改良事業調査費

228万円

ほ場整備の実施に向け、国の事業採択に必要となる事業計画策定のため、費用対効果や概算事業費などを調査。

意見 この事業に向かおうとされる担い手の方々の期待にこたえるよう、計画についてよく詰めて、希望の持てる農業になるような土地改良事業にしたい。

新井地区農業用水路改良事業費

1700万円

蒲生川を横断する新井地内農業用水路の漏水対策として、全区間の補強改修に要する経費。

防火水槽整備事業費

400万円増額

白地地内防火水槽の整備費として当初予定した製品では埋設の施工ができないことが判明したことに伴う、工事費の増額。

問 現地を見ていないのではないか。調査に基づいて予算計上すべきだ。チェックができていないのか。

答 ご指摘のとおり。今後は、予算編成時に十分な精査を行いたい。

新年のごあいさつ

議長 足立 義明



明けましておめでとうございます。

昨年1月以降、世界的に新型コロナウイルス感染症の拡大が進み、国内でも、年末には第3波ともいわれる感染者数の増加が見られ、私たちは経験したことのない困難に直面しています。

コロナ禍の中で、私たちの安全安心な生活を守るためにご努力いただいている全ての皆さまに、敬意と感謝の意を表します。

町行政は、町民の皆さまの命と暮らしを守るために、町内の雇用と事業を継続できるよう、農林水産業や商工業、観光業を支援し、引き続き本町の振興発展に向けた取組を力強く展開することが求められています。

皆さまも、町内の商店や飲食店、観光資源などを見直し、地元愛をもって町内での消費活動にご協力いただきますようお願いいたします。第11次岩美町総合計画の策定に向けては、このたびの感染拡大により、テレワークなどの新しい働き方、地方移住への関心が高まっています。このような変化を的確にとらえて本町へのUIJターンを促し、起業や事業者の創出に取り組んで移住・定住を図ることが求められます。あわせて、さまざまな分野でのIT化を支える情報通信基盤などの確保も必要です。

計画策定には、町民の皆さまをはじめ、幅広い関係者の方々からの提案を伺うことが重要です。皆さまのご協力をお願いします。

我々議会も、皆さまの声を伺いながら、個性豊かで活力に満ちた岩美町の実現に向けて邁進いたします。

また、議員一人ひとりの活動が見え、分かりやすく開かれた議会を目指して、一般質問のケーブルテレビでの生放送やインターネットでの録画放送に取り組んでいるほか、議会の活動がどうあるべきか、町民の皆さまとの意見交換会を行いながら議論を進めています。一層のご指導ご鞭撻をお願いします。

結びに、新型コロナウイルス感染症の終息と、本年が皆さまにとって健康で笑顔あふれる良い年となることをご祈念申し上げます。

キャンプ禁止区域に関する条例の一部改正

マナー違反やごみの不法投棄、地域住民とのトラブルなどの問題も深刻化している。

特定の区域においては、年間を通じてキャンプ及びバーベキューなどを行うことを禁止する。

問 禁止される海岸線の範囲はわかるが、海岸からの奥行きはどれくらいになるのか。

答 ホームページに、より細かな図面を提供する。

印鑑条例の一部改正

3年3月から住民票などの各種証明書のコンビニ交付開始に合わせ、多機能端末から印鑑登録証明の発行を行えるようになる。

性的少数者へ配慮し、印鑑登録原票からの性別事項を削除し、性別標記のない印鑑登録証明書を発行する。

問 例えば住民票は、本籍地を印字するかどうか選択できる。

印鑑登録証明書の場合には選択制ではなく、性別を全く標記しないということが。

答 選択制ではない。全ての印鑑登録証明書について、性別を標記しないことになる。



海岸清掃するボランティア

12月定例会の審議結果と賛否の状況

■全ての議案を全員一致で可決しました。(※足立議長は本会議の採決に加わらない。)

提出者	議案	提出者	議案
町長	鳥取県町村総合事務組合規約の変更	町長	印鑑条例の一部改正
町長	非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例及び消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の廃止	町長	手数料徴収条例の一部改正
		町長	介護保険条例及び後期高齢者医療に関する条例の一部改正
町長	町の議会議員及び長の選挙における選挙運動の町費負担に関する条例の設定	町長	一般会計補正予算(第7号)
		町長	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
町長	ふるさと岩美まちづくり寄附条例の一部改正	町長	国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
町長	地域創生推進基金条例の設定	町長	病院事業会計補正予算(第3号)
町長	国民健康保険税条例の一部改正	町長	一般会計補正予算(第8号)
町長	キャンプ禁止区域に関する条例の一部改正	議員	総務教育、産業福祉常任委員会の所管事務調査

【請願】

件名	結果	賛否の状況
全国知事会の提言に基づき、新型コロナウイルス禍における日米地位協定の抜本的改定に取り組むよう国及び関係機関への意見書提出についての請願 提出者：西伯郡南部町福里83 沖繩と連帯するとっりの会 共同代表 石田正義 外2名 紹介議員：田中克美	採択 (意見書提出)	採択 橋本 恒、吉田保雄 杉村 宏、宮本純一、 川口耕司、澤 治樹、 田中克美

請願の審査結果

討論

趣旨採択 (寺垣智章議員)
 犯罪の被疑者たる米軍人・軍属の拘禁について、日米合意に基づき起訴前に日本側への移転、施設・区域外における米軍機事故については、日米関係者による制限区域内への立ち入りが迅速かつ

採択 (田中克美議員)
 県下で米軍機低空飛行訓練が日常的に行われ、美保基地も米軍基地に指定されているなど、日米地位協定は、国民の問題であり、公明党を含む多くの政党が、日米地位協定の改定を政府に求めている。

不採択 (升井祐子議員)
 尖閣諸島の問題がますます悪化している中、憲法9条があり核を持たない日本は、現時点では日米地位協定を受け入れるしかない。

早期に行われるなど、政府は目に見える取り組みを一つ一つ積み上げ、日米地位協定のあるべき姿を不断に追及していくと思う。

採択 (杉村宏議員)
 日米安全保障条約の下で日本国内に存在している米軍基地の負担は、日本全体で担うべきであり、その規模の適正化や国民の負担軽減は、日本国の政治が果たすべき責務である。

11月30日臨時会

人事院勧告に沿って、町の一般職員の期末手当を0.05月分引き下げるほか、国の特別職に準じて町の特別職及び議員の期末手当も0.05月分引き下げる関係条例3議案を全て全員一致で可決しました。

町民と議会の意見交換会を開催しました

議会活動の在り方検討特別委員会は12月から、議会活動をテーマとする「町民と議会の意見交換会」を開催しました。議会活動をテーマとする意見交換会は、岩美町議会では初めての取り組みです。

町民のみなさんの声をお聞きし、対話を重ねて、「開かれた議会」と議員の力量向上をめざし、前進したいと思います。

議会に出た資料は町民に出されたものと考えて、議会HPに載せて。



正副自治会長さんと意見交換 (12月23日)



議員に出てみようというためには、やりがいがある仕事だと、仕事ぶりを見てもらうことが一番ではないか。



平成の合併の時、議員間で議論して合併しなかったことは、すごいこと。



岩美まちづくりの会と 意見交換(1月14日)



執行部の提案をチェックするだけでなく、議員自ら政策を提案する—その辺が見えてこない。



議会HPに議員の立候補時の公約を紹介してほしい。



一般質問以外に、議会の意思を町政に反映できるシステムがあればと思う。



子ども議会や高校への出前議会など、子どもたちが参加できることを考えて。



長期的な課題についても、解決につながるような質問・質疑をやってほしい。



常任委員会が録画でもいいからHPで見えるようにしてほしい。



意見交換会は第2弾を4月に開催します。
開催単位は問いません。出前いたします。

一般質問

8議員が町政を質す ただ

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

12月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項（通告書のまま）
橋本 恒	7	1 水害の備えは万全か 2 高齢入院患者の認知機能低下防止のために 3 学校給食費の徴収方法の見直しを
宮本純一	8	1 有害鳥獣捕獲処理の負担軽減を 2 児童・生徒の安心、安全を優先した通学方法の検討を
吉田保雄	9	1 町の農業への更なる支援について 2 ウイズ・コロナ時代の中央公民館のオンライン機能について 3 町内の高校生の通学費用補助の検討状況について
寺垣智章	10	1 爆破予告などに対する町の対応について 2 町民体育館、町民グラウンドの喫煙施設設置について
杉村 宏	11	1 高齢者の交通環境の整備を 2 学校教育の学びは転換しようとしているのか
森田洋子	12	1 つながり支えあう介護福祉について 2 地域活性化のための支援の継続を
田中克美	13	1 持続化給付金について 2 とっとり学力・学習状況調査について
升井祐子	14	1 ショッピングセンター誘致で地域に賑わいを 2 観光、健康、防災のために愛宕山の整備を 3 コロナ禍にあって都会人にレンタルスペースのサービス提供を

議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧ください。会議録は、3月ごろから議会事務局や議会ホームページをご覧ください。

岩美病院の発電機を移設すべき

橋本 恒議員

機器更新の際に移設を含め検討

小谷病院事業管理者

町長 洪水ハザードマップに範囲を示している。



橋本 恒議員

橋本 岩美病院周辺は浸水想定が0.5メートルから1メートル上がったが、従来の浸水対策で大丈夫か。

橋本 新しい洪水ハザードマップが配布されたが、浸水想定レベルが上がった地区への周知方法は。

病院事業管理者 敷地の一部が浸水想定より低いので、止水板や止水シートで対応できる。

西垣町長 5地区あるが、自治会長会や、各自治会に出向いて説明している。

橋本 千年に1度級の大雨で、岩美病院周辺の浸水予測は3メートル未満だ。地下の非常用発電機の移設をすべき。

橋本 ホームページや広報誌などで、町民に直接伝える方法はないか。

病院事業管理者 発電機更新の際、移設も含め検討したい。

町長 効果的な方法を考えたい。

橋本 千年に1度級の大雨を想定したハザードマップを作成しているか。

認知機能低下予防にビデオ通話を

橋本 恒議員

病院内の通信環境を整備

小谷病院事業管理者

橋本 入院や面会禁止を原因とする、認知機能低下をどう考えるか。

病院事業管理者 多業種のチームで情報共有やケアを行い、認知機能低下予防を行っている。

病院事業管理者 可能性はあるが、医療従事者のサポートもあり、岩美病院では目立たない。

橋本 面会禁止による認知機能低下対策に、ビデオ通話が有効だが、導入する考えはないか。

橋本 予防のために、なにか対策しているか。

病院事業管理者 まず、病院内の通信環境を整備する。



伊勢湾台風で床上浸水した旧浦富病院

橋本 面会禁止で患者も家族も不安を抱えている。不安解消の取り組みをしているか。

病院事業管理者 家族には、看護師が患者の病状や、日々の変化をできるだけ説明している。

給食費を公会計化しないか

橋本 恒議員

検討課題としたい

寺西教育長

橋本 給食費の集金方法は。

教育長 今の仕組みを維持したいが、今後の検討課題としたい。

出井教育委員会次長 北小学校が、口座引き落としに変わった。

橋本 せめて、西小学校も口座引き落としにすべき。

橋本 元年度に給食費未納があったか。

教育長 学校と保護者の協議の結果だ。

教育委員会次長 ここ数年、未納はない。

橋本 引き落としできないときの集金方法は。

橋本 保護者が現金の集金を望んでいるとは思えない。

教育委員会次長 教頭と臨時職員が対応している。

学校と保護者が、よく話し合っている。

橋本 給食費の集金は教員本来の業務ではない。給食費を公会計化しないか。

い。

捕獲獣処分への負担軽減を図りたい

宮本 純一 議員

他市町村の取り組みを研究したい

西垣町長



宮本純一議員

宮本 町では、鳥獣被害防止計画に沿って被害対策に取り組んできた。課題に対する3年間の取り組みを伺う。

町長 捕獲従事者の確保は、30年は銃1名、わな2名、元年わな10名、2年わな12名だ。

銃猟捕獲従事者の確保が課題だ。

狩猟免許新規取得者に対する免許取得と狩猟登録費用の助成措置と、捕獲技術向上のための研修会を開催した。

宮本 8月に捕獲人材育成研修会が開催された。このような講習会・研

宮本 捕獲獣の焼却処分持ち込み(神谷清掃工場)の利用実態は把握しているか。

町長 30年3月より無償での持ち込みが可能となった。

30年は15件。元年度はイノシシ3頭、シカ15頭の実績だ。

持ち込み頭数が非常に少ない。

宮本 運搬距離が課題であるなら、負担軽減として町内1カ所に集め、まとめて運搬してはどうか。

町長 現段階では非常に難しい。

宮本 4年に稼働する新可燃物処理施設「リンピアいなば」は、捕獲獣の持ち込みはできるか。

町長 難しいと聞いています。

地元の理解を求めたいしながら、他市町村の処

分取り組みも研究し検討していく。

安全安心を優先した通学の検討を

宮本 純一 議員

現状の通学方法を継続したい

寺西教育長

宮本 統合後の各小学校の通学方法は。

教育長 安全協議会などの推進会議の中で協議している。

教育長 基本的には、統合校がある地区の児童は徒歩、それ以外の地区はスクールバスだ。

宮本 早朝にクマなどの目撃情報があるが、登下校の安全対策はどうしているか。

教育長 小学校4キロ、中学校6キロとした徒歩通学の基本は続けていきたい。

教育長 各小学校に情報提供を行い、教師が引率する集団下校などの対応をとっている。

宮本 各小学校区の通学路に交通事故多発箇所があるが、安全対策はどうしているか。



8月に実施された狩猟者向け捕獲人材育成研修会

小規模農家の機械整備に支援はあるか

吉田 保雄議員

人・農地・プランの支援制度の活用を

西垣町長



吉田保雄議員

吉田 高齢化、過疎化により、稲作の委託作業による農業維持が現状だ。小規模農家では、委託作業のほかにもかなりの出費もあり赤字状態だ。稲作を断念しないためにも、小規模農家に助成を考えられないか。

町長 認定農業者や集落営農組織による効率的な営農や、農地の集積による農業生産基盤強化が町の基本的な方向だ。小規模農家のご苦労は承知しているが、助成は考えていない。

吉田 小規模農家は、水路の泥上げや草刈りなど

農地の維持をしている。

農地保全のためにも、大規模農家や集落営農組織まかせでよいのか。

町長 中山間地域直接支払制度で、集落の共同作業や農地を守る手当てがなされている。

吉田 コロナにより農産物の出荷状況が変わると思うが、農業振興をどう考えるか。

町長 外食用米の需要減少もあり、大幅な減産が必要。

国の対応策を注視し、農業関係団体と協議しながら検討する。

吉田 小規模農家がグループを組んで、農業用機械を整備する場合の支援はあるか。

町長 条件はあるが、人・農地・プランなど農業用機械導入を支援する事業がある。

こういった補助制度を活用してほしい。

中央公民館のオンライン機能の充実を

吉田 保雄議員

時代にに合わせて検討していきたい

寺西教育長

吉田 先ごろ中央公民館でオンライン講演会が初めて開催されたが、中央公民館の通信環境の整備はどうか。

出井教育委員会次長 施設利用者が接続可能なインターネット回線を整備している。また、一般来館者に、



中央公民館 初のオンライン講演会

フリーWi-Fiも提供している。

吉田 中央公民館をホストとして、町内各所、道の駅、各地域の公民館、町CATVなどを結び、相互のやりとりを行なえないか。

講演会には設備が足りないことが分かった。又、著作権や肖像権の問題もあり、制限のない配信は難しい。オンライン講演会などは想定しておらず、今後は時代にに合わせて変えていきたい。

寺西教育長 中央公民館初のオンライン講演会が行なわれて、大掛かりな

通学費補助の増額はどうか

吉田 保雄議員

町として引き続き要望していきたい

西垣町長

吉田 3月定例会の一般質問で、通学費助成の質問を行った。

本年は、補助制度創設の初年度であり、町村会で話し合い、要望は見送った。

県へ助成増額の要望をしたいとの答弁であったが、進捗状況はどうか。

今後、機会を見て県に要望していきたい。

町長 通学補助の拡充は、全市町村が協調して県に要望すべき事項と捉えている。

爆破予告などへの対応は

寺垣 智章議員

警察と協議し方針を決める

西垣町長



寺垣智章議員

寺垣 役場庁舎などの公共施設に、爆破予告などがあった場合の対応はどうか。

町長 速やかに警察と協議し対応方針を決めることとしている。
寺垣 執務中であれば当然職員を避難させ、原則建物は閉鎖とし、安全が確認できるまでは業務は止めるを得ない。

寺垣 近隣住民への周知と避難指示はどうか。

町長 まずは対象区域の自治会長に連絡し、自治会、自主防災組織、防災無線、町保有の広報車などを活用し周知していきたい。

寺垣 避難指示の範囲は、警察の指示に従って決める。
寺垣 保育所や学校に予告があった場合の児童・生徒及び職員の避難と保護者への周知はどうか。

寺西教育長 児童・生徒の安全が第一であるため、警察への報告と同時に避難活動を始めたい。
 保護者へは、まず一斉メールと防災無線で周知する。

寺垣 実際に爆発した場合、周辺の家屋の補償や、メンタルケアなど、事後の対応はどうか。

町長 被害状況や範囲などを勘案した上で、県などともよく相談しながら検討したいと考えている。
 メンタルケアは、町の保健師が中心となって行うが、県の専門機関の協力を得ながら対応していきたい。



岩美町役場庁舎

喫煙所の設置を

寺垣 智章議員

引き続き敷地内禁煙

西垣町長

寺垣 町内の公共施設の敷地内を全面禁煙としたが、全面禁煙とした前後で、喫煙者のマナーに変化があったと考えるか。

町長 社会全般に公共の場での禁煙化が進んだこともあり、決められた場での喫煙、灰皿の携帯などが、以前に比べて向上したと感じている。

寺垣 町民体育館、町民グラウンドの近隣住民から、たばこのマナーに関する苦情はなかったか。
寺西教育長 聞いていない。

寺垣 屋外に国が定める基準を満たす喫煙施設を設置する場合、どのような施設でどれくらいの費用になるか。

町長 施設の利用者が通常立ち入らず、近隣の建物に隣接しない場所、明確な区分、標識の掲示などが求められている。
 簡素な構造の物であれば70万円程度だ。

寺垣 町民体育館、町民グラウンドに喫煙所を設置しないか。
町長 引き続き敷地内禁煙に協力してほしい。

別々の内容を学習するのか

杉村 宏議員

想定していない

寺西教育長



杉村 宏議員

杉村 その状況や、児童・生徒の感想などを、ケーブルテレビの生中継の公開授業を行わないか。

教育長 学校で生中継はできない。撮影はいけないという子どもも若干名ある。

杉村 保護者には、タブレット端末を使った授業を見てもらうべきで、公開学習をするよう学校にお願いする。

杉村 1月に小・中学校4校全てに、児童・生徒1人当たり1台の情報端末が整備される。文部科学省が実現目標としている2020年GIGAスクール構想を、町の学校教育で現実のものとしていかなければならない。

今年度にネットワークのスピードを確認する授業を行うか。

教育長 不具合がないかどうか、一斉に試してみたい。

教育長 家庭に環境がない場合、できない。

杉村 GIGAスクール構想は、個別学習で、各人が同時に別々の内容を学習するか。

教育長 学校では、ある子はここを、ある子は別のことをとは想定していない。

杉村 1人1台端末になったら、各人が同時に別々の内容を学習すると文部科学省は言っている。町の学校教育は転換しようとしているのか。

教育長 50問解ける子も5問で一生懸命やっている子も、差があるところに教師は進度を確かめながらやっていく。好きなことを自由にやるイメージではない。

衝突防止後付け補助を

杉村 宏議員

上乗せ補助の研究をする

西垣町長

杉村 安全な自家用車利用のため、高齢者に対する衝突防止対策100%で「運転寿命」が延びた町としたい。

急発進抑制装置設置が

4万4千円のところ、国補助2万円、2万4千円の負担で、後付けできる本人負担部分の町補助を段階的にも行いたい。高齢ドライバーが事故

を起こすと、被害者や世間の怒りは本人だけでなく、家族にも向きがちだ。責任を感じ、苦悩する家族は非常に多い。本人やご家族の苦悩を町内では、決して発生させたくない。

町長 老人クラブの皆さんと話をし、上乗せ補助の研究をしてみたい。

杉村 岩美駅西側の自転車駐輪場の使用状況を踏まえ、駐輪場縮小と高齢者専用の駐車場整備はどうか。

町長 駐輪場を縮小しても支障がないなら、駐車場への一部転用について、来年度に向けて調査を進めたい。



1月14日朝8時の岩美駅前駐輪場

介護サービスの整備を進めよ

森田 洋子議員

地域包括ケアシステムを推進する

西垣町長



森田洋子議員

森田 町は29年4月、介護予防・日常生活支援総合事業を新たにスタートさせた。
支援者に適切なサービスをし、効果的な取り組みができたか。

森田 第7期岩美町介護保険事業計画、高齢者福祉計画が最終年度だ。どのように進めてきたか。成果は、今後の課題はなにか。

町長 今現在は、適切なサービスをしていると考える。
今後、高齢者人口増加で、要支援認定を受ける方も増加する。要介護状態にならない取り組みに力を入れたい。

町長 自立支援、重度化防止に向けた取り組みで、サロン、高齢者サークルの設置目標を立て取り組んだ。
身近な通いの場の拡充は一定の効果があった。今後は、地域包括ケアシステムの推進が重要。一層強化し、推進に努めたい。

森田 人口1万人の南部町は、地域包括ケアシステムの取り組みで、高齢者の共同住宅を実現した。地域の実情を踏まえて、介護サービス基盤の整備を考えているか。

町長 他町村での共同住宅の対応を今後研究したい。

森田 介護施設の介護手続きが大変だと聞いた。書類の作成が業務の半分を占めている現状もある。相談窓口の業務ができていないか、人材確保はどうか、岩美病院について伺う。

小谷病院事業管理者 非常に多忙を極めている。相談業務は十分とはいえない。
介護職員の人材確保はできている。

森田 本年6月に成立した改正社会福祉法などにより、来年度から断らない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に進める新たな



玉手箱体操の普及に取り組む介護予防運動普及員の方々（くがみ玉手箱体操サークル）

事業が市町村で実施できない。どのように考えているか。

町長 同じ機能のものを行っているのと考えていない。

地域活性化のための支援を継続せよ

森田 洋子議員

国の3次補正の活用を検討したい

西垣町長

森田 コロナ対策支援策として、20%のプレミアム付商品券を発行した。現状はどうだったか。

町長 改めて地域の飲食店が再発見できた。事業者の方から売上げが回復してきたとの声を聞いている。

町長 町内事業者を支援するため、一世帯5冊、5万円限定で一万冊を販売し、約82%購入いただいた。今現在の換金率は約90%だ。

森田 今の支援は、地域の活性化につながっていると考える。
今後の支援継続は考えているか。

森田 9月から来年2月を期間とする5千円クーポンを全町民に配布し、町内飲食、宿泊業を支援した。
大盛況だ。どう捉えているか。

町長 町内372の事業所を対象にアンケート調査をした。
施策に反映できるものは、国の3次補正の活用を検討したい。

学力テストは授業改善に役立つ たない

田中 克美議員

学力テストは生かしたい

寺西教育長



田中克美議員

指導に生かすテストは教えたことがどれだけ定着しているかを把握するのが目的で、全体の正答率には意味はない。学力テストも正答率を出すのか。

田中 県教育委員会は、全国学力テストと別に、県独自の学力テストを今年度から始めた。

県教委は、「全国学力テスト」と「とっとり学力テスト」を活用して授業改善を図り、5年度まで、全国学力テストの全教科で全国平均を毎年1ポイント以上上回ると数値目標を掲げた。

専門家は、「学力調査」と「指導に役立つテスト」は別物であり、2つを混ぜてはいけないと指摘している。

全国学力テストは、結果が分かるのが遅く指導改善に役立つたない。

教育長 時間がかかるのは仕方がない。学力テストも正答率を出すか聞いています。

正答率を出して比較することはどうかと思う。しかし正答率だけを目的としてはいいない。

田中 数値目標は、学校と教員のプレッシャーになる。

通常の教育活動にゆがみを生じると思うかどうか。

教育長 プレッシャーだと思いが、ゆがみを生むものではない。

田中 常態化している教員の過重労働に、全国学力テスト、県学力テストの分析、評価の作業が加わる。しかも授業改善に役立つたない。

過重労働に輪をかけると思うかどうか。

教育長 学力テストを生かしたいという思いだ。過重労働になるが、学校は、生かすため工夫している。



岩美西小学校6年生のテスト風景

持続化給付金申請、町は農業 者を支援せよ

田中 克美議員

申請支援を農協に呼びかけた

西垣町長

田中 ほとんどの農家が持続化給付金の対象となり得るとするのが国会の大臣答弁だ。

大臣答弁を農業者に知らせるべきだと思うかどうか。

町長 持続化給付金を受けた農業者はまだ少ない。町は、農業者が対象であること、給付金の対象となる算定と給付額を知らせるチラシを作成し、12月の町広報紙と一緒に全戸に配った。

田中 申請を支援する必要があると思うが、JA岩美支店とも協議し、申請の支援につながるよう努力せよ。

町長 申請漏れにならないよう、14、15日に町、JA岩美支店、振興公社3者で説明会を開いた。問い合わせに対しては、

しっかりと対応したい。申請支援についても、町の方から岩美支店に呼びかけた。

田中 持続化給付金受給者に10万円を上乗せしている町独自の給付金について、減収が50%未満の事業者も対象にすることを求める。

町長 現時点では対象拡大は考えていない。国の3次補正を踏まえた上で、実情をよく見て、議会とも相談して判断していきたい。

町長 申請漏れにならないよう、14、15日に町、JA岩美支店、振興公社3者で説明会を開いた。問い合わせに対しては、

複合型商業施設の誘致を

升井 祐子議員

進出したい企業なければ難しい
西垣町長



升井祐子議員

升井 第10次岩美町総合計画では、重要度が高いが満足度の低いものとして、企業誘致、雇用の確保、若者の就職支援、防災、災害対策が挙げられている。

そこで、複合型の商業施設を誘致すれば、雇用が増え、町としての賑わいを創出できるのではないか。

また、企業誘致についての考えはどうか。

町長 幹線道路の整備に伴い、町民の生活環境が、以前に比べ利便性が向上してきていると思う。

商業施設を誘致するには、まず商業圏が問題と

更に愛される岩井温泉街に

升井 祐子議員

地元と協議しながら検討する
西垣町長

升井 岩井温泉は、1300年の歴史を誇る山陰最古の温泉。しかし、近年10年間で入浴客数が43%まで落ち込んでいる。一方、岩井の街中にある愛宕山は石仏、展望台やゆかむり塔など、文化

財的な価値に恵まれ、今は荒廃しているが、休憩所やトイレもある。これらを整備し、温泉客や、町民に親しまれる散策道として蘇らせてはどうか。



岩井温泉街から望む愛宕山

町長 散策道の除草や植栽の剪定は、地元岩井温泉区が行っている。近年、散策路としては、イノシシなどの出現で足が遠のいている。

升井 登りやすさから避難路としての活用はどうか。

町長 避難路については、地元と協議する。

レンタルスペースの提供を

升井 祐子議員

取り組む事業者あれば検討したい
西垣町長

升井 コロナ感染対策の長期化とともに増大したストレスの影響は深刻だ。本町の空き家や倉庫をレンタルスペースとして、町内外者に安価に貸し出し、リモートで仕事をし、気分転換をしてもらえば、双方にとり有益であると思うがどうか。

升井 都市部と地方の双方に拠点を持ち、定期的な仕事や余暇を過ごすことを検討する方に、何らかの施策を行えないか。

町長 棚田オーナー制度、交流イベントなどを通して継続的に本町にお越しただいで、最終的に半分移住、または移住につなげていく取り組みをしている。

町長 民泊事業者が取り組みたいのであれば、町として支援を検討したい。

元気もらった!ありがとう

岩美高校 女子バレーボール部

2年ぶり3度目の春高バレー(第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会)に出場した岩美高校女子バレーボール部の皆さんに聞きました。



3年 澤田 穂花



この3年間は自分が大きく成長した3年間でした。思い通りにならない事も多かったですが、その自分たちで考えて動くという機会が増えて、バレーボールの技術はもちろんですが、人として大きく成長できた3年間でした。

3年 安住 琴菜



私はレギュラーとしてコートでプレーすることはできませんでしたが、レギュラーの選手に声をかけたり、ボールを打ったりして、側からチームに貢献できるよう努力しました。親元を離れ寮で生活しながら岩美高校でバレーボールができ、とても充実した3年間でした。

3年 石橋 里奈



この3年間辛いこともありましたが、技術だけでなく精神面も鍛えることができ、全国の舞台で戦えたこと、本当に嬉しかったです。これまで培った経験を活かし、次へ進みたいと思います。ありがとうございました。

3年 新野 令華



3年間つらいこともたくさんあったけど、その分楽しいこともたくさんあった3年間でした。きつい練習やトレーニングもたくさんあったけど、乗り越えることができ成長できました。全国大会にも出場でき良い経験が出来ました。

3年 藤田璃乙奈



私にとって岩美でのバレーボール生活は、とても濃い3年間でした。1年生の頃からコートに立たせてもらい、オレンジコートでプレーすることができました。2年生の時には一度も優勝することができず、悔しいまま自分たちの代になりました。

中国新人大会で第3位となり、県内大会完全制覇を目指していた時に、コロナウイルス感染症が蔓延し、試合や遠征がなくなりました。それでも春高があることを信じて練習を重ね、春高のオレンジコートでプレーをしてバレーボール人生を締めくくることができて本当に良かったです。ありがとうございました。

沢山の方々に応援して頂いて、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

1・2年代表 高田 美月



私たちの目標は、今年3年生に連れて行ってもらった春高の舞台に自分たちの力で立ち、全国で勝ち進み、鳥取県内だけでなく全国にも『岩美』の名を轟かせることです。

応援してくださっている地域の方々やお世話になっているたくさんの方々に、バレーボールを通して恩返しができるように、これからもより一層頑張ります。

3年 中嶋 妃和



私は岩美に来て、バレーボールをすることができて本当に良かったです。楽しかったこともあるけど、辛いことも多かった3年間ですが、自分をとても成長させてくれた場所でした。

監督 井上 剛

岩美町の皆様にはいつも岩美高校女子バレーボール部の活動を応援していただきありがとうございます。先日の春高全国大会出場にあたり、多くの方々に物心両面にわたるご支援をいただきありがとうございました。今後も『岩美』の名前を全国に轟かせることができるよう頑張っていきたいと思いますので、応援よろしくをお願いします。

大雪を初めて体験された みなさんに聞きました



浦瀬 政則さん、史帆さん

私達夫婦は、岩美町の自然豊かなところにひかれて移住をしました。

僕は出身が九州なので、雪が降る県での生活を経験したことがなく、積雪の多さや寒さに度肝を抜かれました。

雪の多い場所で問題なく生きていけるかや、今年以上に雪が降った場合はどうしていくかを妻と話し合ったりもしました。

そういう不安のある中、近所の方達が除雪機などを使って一緒に駐車場の雪をかいて下さったりして、とても心強く励みになりました。

気遣って下さる優しい方々に囲まれ、私達夫婦は前向きに生活を送っています。



大谷 麻予さん

岩美町の海に魅せられて、昨春、移住して参りました。

移住後は、親切な先輩移住者や地域住民の方々に支えていただきながら、コロナ対策の上、海や山のアクティビティを楽しんだり、美しい自然の数々をカメラに収めたりして過ごしています。

昨秋、浦富海岸を撮影した写真が「うみぼす」に入賞し、町の魅力発信に貢献できて嬉しかったです。

最近、積雪量に驚く日々です。雪かき・雪下ろしは人生初でした。

寒さなど厳しい冬ですが、住んでいるからこそ出会える冬景色があると感じました。

今後も町の魅力を発信・発信し続けたいと思います。



黒崎 大さん

母方の実家が岩美町で、幼少期にはよく訪れ自然豊かな環境で遊んでいました。

自分自身の人生設計について考えるようになると、田舎暮らしがしたいという思いが強くなり、岩美町へ地域おこし協力隊として夫婦で移住を決めました。

移住前に想像していた以上に地域住民の皆さんには親切にいただき、また海の幸・山の幸が食卓に溢れ嬉しい悲鳴です(笑)。

今シーズンは数年ぶりの寒波で雪かき等も大変でしたが、降雪後ご褒美の様な絶景もあり不便も楽しんでいます。

これからも協力隊として岩美町に貢献できるように頑張ります。



編集後記

12月議会是一般質問にたった議員が8名でした。

岩美町議会で、最も質問者が多い定例会ではないでしょうか。

議会活動のそもそも論から議論を始めて約2年、その取り組みが、一つの形で表れたと受け止めています。

議論できる議員、活発な議論が交わされる議会をめざし、さらに前進していきたいと思っています。

町民との対話を重ね、対話から力をいただきながら成長する議会になることを願っています。
(田中克美)

議会だより調査特別委員会委員

〔発行責任者〕

議長 足立 義明

委員長 田中 克美

副委員長 橋本 恒

委員 柳本 正敏

委員 川口 耕司

委員 寺垣 智章

委員 吉田 保雄

委員 森田 洋子

委員 升井 祐子